

〈発行者〉二所ノ関部屋後援会

発行 273-0037
連絡先

千葉県船橋市古作4-13-1

〈協力〉スポーツニッポン新聞社

第78号

二所ノ関部屋

2月に37歳となった部屋頭の十両・松鳳山が奮闘。千秋楽で8勝目を挙げ、7場所ぶりの勝ち越しを挙げた。現役関取では最年長。再入幕を見据え、さらなる精進を誓った。7場所ぶり

に十両に復帰した一山本も、初の2桁勝利をマークするなど気を吐いた。師匠のラストイヤー、十両の2力士が勝ち越しを挙げ、部屋を盛り上げている。



幕内カム必ず 松鳳山

7場所ぶり勝ち越し

7勝7敗で迎えた春場所千秋楽。相手は25歳の新十両、貴健斗(常盤山)だった。年齢ではひと回り違いが、松鳳山は終始、主導権を握りながら突き落としで下し、19年九州場所以来、7場所ぶりの勝ち越し。「とりあえずホッとしたのが一番です」。松鳳山はホッと胸をなでおろした。

2月9日に37歳を迎えた関取最年長力士。力強く前に持っていく相撲は減ったものの、勝負への執念と、ベテランらしい引き出しの多い取り口で健在ぶりをアピールした。昨年はコロナ禍で調整も難しい中だったが「それほど影響はなかった」という。春場所前も一山本との稽古で備えるなど充実した調整を行っている。正月には母校の駒大が箱根駅伝で劇的な最終区間での大逆転V。諦めない思いが大事なことを後輩から教えられた。

もう一度勝負の夏

春場所の番付は西十両8枚目。幕下までの枚数も気にしなければならぬ位置で勝ち越しを決め、夏場所は再入幕を狙える位置に浮上する。「もう一度幕内で相撲を取りたい。その気持ちは持っています」

年々年下の若い力士との対戦も増え「知らない人が多くなった」と笑うが、39歳で復帰した安美錦(現安治川親方)の例もある。再び幕内にカムバックする日を我々は待ち望んでいる。

(黒田 健司郎)

2人の関取が突っ走る!!



次なるステージ必ず 山本

7場所ぶりに十両で10勝

春場所7場所ぶりに十両に戻ってきた一山本が10勝を挙げた。「場所前から2桁を目標にしていたので、良かったです」と率直に喜びを口にしました。

1月の初場所は7番相撲で矢後(尾車)を破って、ぎりぎり昇進を決めた。西十両14枚目は負け越せば陥落と後がない位置だったが序盤から元気の相撲で白星を重ねた。11日目の水戸龍(錦戸)戦で勝利した時に右肩を痛めたが13日目の若元春(荒汐)戦で勝ち越しを決めると、千秋楽まで3連勝。15日間を振り返って「引く相撲も多かったが、少しずつでもまわしを引く相撲も取れている」と話した。

2年前の九州場所を取組中に左膝を負傷、その後休場が続ぎ、幕下の下位まで番付を下げたが、地道に勝ち越しを続けてカンバック。入門時は食も細く体を大きくするのにも苦労していたが、ケガを機に積極的に食事の量を取るなどの努力も実り体重も142kgにまで増量している。

幕内昇進へ万全稽古

年内に幕内昇進を目指している。夏場所は十両の上位にまで番付も上昇する。「立ち合いからの圧力を強化していきたい。しっかりと稽古して場所に準備したい」と意気込んでいる。引き技も苦し紛れのものではなく、しっかりと押し込んでのものなら効果的に決まる。次なるステージへ、手綱を緩めることはない。



1983年9月場所若島津(現二所ノ関親方、右)に激しい突っ張りを見舞う麒麟児(蔵前国技館)

「花のニッパチ組」元関脇・麒麟児67歳で死去

北陣親方「安らかに」

元関脇・麒麟児 67年夏場所二所ノ関部屋の一人として人気を誇った。から初土俵を踏み、74年秋場所新入幕。75年名古屋場所新関脇となり、幕内に通算84場所在位した。三賞受賞は11度で、金星6個を獲得した。故北の湖や2代目若乃花(ともに元横綱)らと同じ昭和28年生まれで花のニッパチ組二所ノ関部屋で後進を指導した。

元関脇・麒麟児 67年夏場所二所ノ関部屋の一人として人気を誇った。から初土俵を踏み、74年秋場所新入幕。75年名古屋場所新関脇となり、幕内に通算84場所在位した。三賞受賞は11度で、金星6個を獲得した。故北の湖や2代目若乃花(ともに元横綱)らと同じ昭和28年生まれで花のニッパチ組二所ノ関部屋で後進を指導した。



関取へ中園改め「島津海」

親方のしこ名から「引き締まる思い」
中園は夏場所からしこ名を「島津海」に改める。同じ鹿兒島県出身の師匠、二所ノ関親方の現役

時代のしこ名から「島津」をいただくこととなり、中園は「とても引き締まる思いです」と話した。自己最高位で迎えた初場所は2番相撲から5連敗。ずるずると行きかけ

たが7番相撲の隠岐の富士(八角)戦と勝ち得の十両・常幸龍(木瀬)戦を勝利し3勝5敗。降下を少なくし10枚目にとどめた。春場所も場所前に左膝を痛め稽古ができず、休場も考えたという。それでも4勝3敗と万全な状態でないなかで勝ち越

した。「あの状態で4番勝てたのは良かった」。夏場所は番付もひと桁には浮上する可能性が高い。「膝はもう大丈夫です、まずは万全の状態場所で迎えたい。改名をいっきに受けたい。師匠の定年まで1年を切ったが、関取へ前進あるのみだ。



松鳳山
初 東十4★5-10
春 西十8★8-7
春場所は勝ち越せてホッとしています。体の衰えは感じていない。再入幕目指したい



一山本
初 西下3★4-3
春 西下14★10-5
春場所は目標の2桁を勝てて良かった。年内の幕内昇進に向けて攻めに磨きをかけたい



島津海
初 東下4★3-5
春 西下10★4-3
春場所は状態を考えれば、4勝できたのは良かった。改名をいっきにかけたい



若ノ藤
初 東三56★4-3
春 西三36★2-5
3月もケガで思うような相撲を取れなかった。いい成績で地元の名古屋に行けたら



中石
初 東三50★4-3
春 東三30★全休
ずっと番付を上げていたのでケガは残念ですが、しっかりと直して、また出直したい



若錦翔
初 東十4★5-10
春 東三40★4-3
この位置でもやっつけられる手応えはつかんでいる。幕下昇進へさらなる努力をしたい



今福
初 西三37★2-5
春 東三63★4-3
年内に幕下に上がることを目指しています。トレーニングの効果も出て下半身も安定



有川
初 西二68★3-4
春 東二88★3-2-2休
5番相撲で土俵に転落した際に左足首を骨折。5月は微妙ですがリハビリを頑張ります



若山中
初 東三86★1-6
春 東二18★2-5
場所に行って結果が出ない。場所前稽古も悪くなかった。何とかきっかけをつかみたい



石原
初 東二48★3-4
春 西二64★3-4
腰とはずっと付き合っていないといけない。常に自分のできることをやるだけです



若一輝
初 西二90★4-3
春 東二55★3-4
3月も終盤で連敗。勝ち越しを意識すると硬くなってしまふ。平常心で臨めるように

中石「右膝前十字じん帯断裂」無念の離脱
○：昨年7月場所所前の稽古中に右足一本から4場所連続勝ち越して自己最高位の三段目30枚目で春場所を迎えた中石が無念の離脱となった。春場所が濃厚。幕下を狙える位置



若一輝友風と対戦し「いい勉強になった」
3勝先行も悔し負け越し
○…若一輝は3勝2敗から2連敗して惜しくも負け越し。「3勝してから考えようことがある」と悔しそうに振

り返った。一番相撲では大ケガで番付を下げた友風(尾車)と対戦。元幕内上位の実力者と対戦する貴重な体験をした。相撲は完敗だったものの「最初は攻めたんですが、あっさりいなされた。いい勉強になった。でも重かったです」すがすがしく振り返った。

命のリハビリ中だ。

師匠	年寄	年寄	年寄	行司	行司	床山	呼び出し	呼び出し	床山	マネージャー
日高六男	南忠晃	安本栄来	岡部新	押田裕光	水谷洋二	平島和之	美根祐弘	朝倉悟	松原弘一	青菜恭孝
1957年1月12日	1956年10月29日	1974年4月19日	1977年9月15日	1973年4月29日	1976年7月31日	1958年5月26日	1976年4月3日	1977年6月17日	1969年8月25日	1963年10月16日
鹿兒島県熊毛郡	福井県大野市	東京都江戸川区	福島県西白河郡	千葉県柏市	鹿兒島県	東京都江東区	埼玉県さいたま市	静岡県湖西市	愛知県豊田市	愛媛県吉野町